



## ふうせん ちい 風船はなぜだんだん小さくなっていくの

### すこ くうき 少しずつ空気がもれていく

はちきれるほどに、ふくらんでいたふうせんも、ながじかんがたつと、すこずつしぼんで、だんだんちい小さくなっていきます。

ふうせん くうき い  
風船に空気を入れて、ふくらましたあと、くうき  
あに、空気がもれないように、いと  
むす  
んだのに、どうして、ちい  
小さくなっていくのでしょうか。

おお  
ふうせん  
多くの風船は、ゴムからできています。ふうせん  
まく  
風船のゴムは、うすい膜からできていて、め  
み  
たときには、どこもすきまがないように見えます。しかし、なか  
い  
くうき  
すこ  
ゴムのまく  
膜にしみこんでいきます。

やがて、くうき  
すこ  
空気が少しずつ、ゴムのまく  
で  
から出ていきます。すると、ゴムのちぢ  
ちから  
縮む力がはたら  
いて、ふうせん  
ちい  
風船はだんだん小さくなっていきます。それに、いと  
むす  
しっかり結んであった  
ふうせん  
くち  
風船の口からも、くうき  
で  
空気が出ているのです。

### くうき みず い 空気のもれは水に入れるとわかる

ふうせん  
くち  
ふうせん  
まく  
風船の口や風船の膜から、くうき  
すこ  
空気が少しずつ、で  
ているのをしら  
べ  
るには、ふうせん  
みず  
なか  
い  
風船を水の中に入  
れてみます。

ふうせん  
くうき  
ふうせん  
ちい  
風船から空気がもれていれば、みず  
なか  
い  
水の中に入れた風船から、小さなあわがで  
ているのがわか  
ります。（監修・青木 国夫）

